科目基	T**.h== + =	等專門学校	開講年度	平成31年度 (2	- U エフ ー /又 /	授業科目	環境マネジ	ノ·フ l		
	一位 有我				,					
科目番号	-	0005				専門 / :	専門 / 選択			
授業形態		講義			単位の種別と単位	z数 学修単6	立: 2			
開設学科				ζ	対象学年	専2				
		前期			週時間数	2				
教科書/	教材	テキスト : 環境社 北出版) (日本規	、:特に指定しない. t会検定試験eco検定 ,環境マネジメント 挑協会)など問題集	関連資料をプリン 公式テキスト(日2 トハンドブック(日 ミ:環境社会検定試	ト配布するが,下i k能率協会マネジメ 本工業新聞社),I 験(eco検定)公式	己参考書やWEB シトセンター) SO14001:201 過去・模擬問題	3の情報等を適宜: , 環境白書 (環 5(JISQ14001:2 !! !!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!	参照すること.参考書 環境省),環境工学(系 2015)要求事項の解説		
旦当教員	Į	加藤 雅t	t t							
環境の係		創出に関する	と自然環境との因果隊 3法律や技術の基本的 なり、説明できる.	関係を説明できる. 内知識を身につけて	いる.					
レーブ	<u>`リック</u>				1					
			理想的な到達レベルの目安(優)		標準的な到達レク			未到達レベルの目安(不可)		
平価項目	1		代表的な環境問題の発生メカニズムや対策等を説明できる.		代表的な環境問題の発生メカニズ ムを説明できる.		ズ 代表的な環境 きない.	代表的な環境問題の概要を説明できない		
評価項目2			環境影響評価法		自然環境の保護や					
	14		メント関連技術		事項を説明できる		本事項を説明			
評価項目3			「垣見マイジメン 事例に対して評値	トシステムの導入 価できる.	環境マネジメント と認証評価につい	ン人ナムの概)て説明できる	タ 「	環境マネジメントシステムの概要 を説明できない.		
 学科の	到達目標	項目との関								
学習・教	放育到達度目									
ABEE (
教育方	<u> </u> 法等	TIME LOS CONTRACTOR	Satis William	- →* / →> ! ~ ******* !	\+ / · · · ·	n=m + 1.6/n	++ •c=::	200		
既要		環境問題	頭の背景, 発生メカニ (規格を正しく理解し	ズムおよび解決方 , 企業等における	法に関する幅広い第 環境報告書などの	□識を修得する 『例をとおして	. また, ISO140 環境マネジメン	000 -		
,,,,		に関する	る基礎的知識を身にて	がる.						
		基本的な	は物理, 化学に関する	5知識が必要である	. また, 環境問題(関する基本的	な知識があること	<u> </u>		
		が望まし	ル. ∃として講義形式で行	うが 事前に課題	を与え 音見を求め	hたり討議する	こともある			
ら 学 の 注	並め方・方法	講義内容	学自習にはパソコン	課題について学習	する等の自学自習が	が必要である.	CC000.			
又未りた	E0J/J·/J/広	また、自	学自習にはパソコン	/やインターネット バス・バー たんねょ	を使える環境が必要	要である.				
			: 定期試験の結果か ・定期試験の結果が	160点以上を合格と						
				゚゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙	. اله و					
		再試験に	よる合否判定:再試	ごする. ば験の結果が60点以	」。。 上を合格とする					
		講義では	は基礎的な知識の修得	早に主眼をおきます	上を合格とする. が、実際の環境問題	重は多様で複雑	です。日常から現	泵		
上意点		講義では境問題を	は基礎的な知識の修得 意識して,積極的に	に主眼をおきます 情報収集するよう	<u>上を合格とする.</u> が,実際の環境問題 に心がけること. ヨ	風は多様で複雑 環境への配慮は	です. 日常から5 , 技術者倫理とも	₩ ₹ 5		
主意点	· i ii	講義では境問題を	は基礎的な知識の修得	に主眼をおきます 情報収集するよう	<u>上を合格とする.</u> が,実際の環境問題 に心がけること. ヨ	夏は多様で複雑 環境への配慮は	です. 日常から5 , 技術者倫理とも			
	画	講義では 境問題を 関わる基	は基礎的な知識の修得意識して,積極的に基本的かつ重要な事項	に主眼をおきます 情報収集するよう	上を合格とする. が,実際の環境問題に心がけること 受講してください.	環境への配慮は 	, 技術者倫理とも	#R 5		
	画	講義では境問題を関わる基	基礎的な知識の修得 意識して,積極的に 本的かつ重要な事項 授業内容	に主眼をおきます 情報収集するよう	上を合格とする. が,実際の環境問題に心がけること. 5 受講してください.	環境への配慮は	, 技術者倫理とも	5		
	画	講義では境問題を関わる基準を関わる基準を関わる基準を関わる基準を関わる基準を関わる。	基礎的な知識の修得 意識して,積極的に 本的かつ重要な事項 授業内容 環境問題の背景	に主眼をおきます 情報収集するよう	上を合格とする. が,実際の環境問題に心がけること. 5 受講してください.	環境への配慮は 週ごとの到達目 環境問題の歴史	, 技術者倫理とも 目標 2的背景を説明で	5		
	画	講義では 境問題を 関わる基 週 1週 2週	基礎的な知識の修得 意識して,積極的に 本的かつ重要な事項 授業内容 環境問題の背景 地球環境問題	学に主眼をおきます 情報収集するよう 気であると認識して	上を合格とする. が,実際の環境問題に心がけること. 5 受講してください.	環境への配慮は 週ごとの到達E 環境問題の歴史 地球環境問題	, 技術者倫理とも 相標 2的背景を説明で D概要を説明でき	් මෙනි. මෙනි.		
	画	講義では 境問題を 関わる基 週 1週 2週 3週	基礎的な知識の修作意識して、積極的に本的かつ重要な事項 授業内容 環境問題の背景 地球環境問題 代表的な地球環境問	学に主眼をおきます 情報収集するよう 気であると認識して	上を合格とする. が,実際の環境問題に心がけること. 5 受講してください.	環境への配慮は 週ごとの到達E 環境問題の歴史 地球環境問題 代表的な地球環	, 技術者倫理とも 相標 的背景を説明で の概要を説明でき 環境問題のメカニ	きる. きる. ズムや対策を説明でき		
		講義では 境問題を 関わる基 週 1週 2週 3週 4週	基礎的な知識の修作 意識して,積極的に 本的かつ重要な事項 授業内容 環境問題の背景 地球環境問題 代表的な地球環境問 大気環境問題	学に主眼をおきます 情報収集するよう 気であると認識して	上を合格とする. が,実際の環境問題に心がけること. 5受講してください.	環境への配慮は 週ごとの到達目 環境問題の歴史 地球環境問題の代表的な地球球 る. 大気環境問題の	, 技術者倫理とも 相標 2的背景を説明で の概要を説明でき は境問題のメカニ (メカニズムや対	きる. きる. ズムや対策を説明でき 策を説明できる.		
	画 1stQ	講義では 境問題を 関わる基 週 1週 2週 3週	基礎的な知識の修作意識して、積極的に本的かつ重要な事項 授業内容 環境問題の背景 地球環境問題 代表的な地球環境問	学に主眼をおきます 情報収集するよう 気であると認識して	上を合格とする. が,実際の環境問題に心がけること. 5受講してください.	環境への配慮は 週ごとの到達目 環境問題の歴史 地球環境問題の 代表のな地球球 る. 大気環境問題の 水環境問題の 水環境問題の	, 技術者倫理とも 相標と的背景を説明で の概要を説明でき 環境問題のメカニ のメカニズムや対 をカニズムや対策	きる. ぎる. ズムや対策を説明でき 策を説明できる. を説明できる.		
		講義では 境問題を 関わる基 週 1週 2週 3週 4週	基礎的な知識の修作 意識して,積極的に 本的かつ重要な事項 授業内容 環境問題の背景 地球環境問題 代表的な地球環境問 大気環境問題	保に主眼をおきます 情報収集するよう であると認識して	上を合格とする. が、実際の環境問題に心がけること. 5 受講してください.	環境への配慮は 週ごとの到達目 環境問題の歴史 地球環境問題の代表的な地球球る. 大気環境問題の 水環境問題のシ 土壌汚染, 有割	, 技術者倫理とも 相標 と的背景を説明できまりできまり。 は境問題のメカニ。 のメカニズムや対策 の大力ニズムや対策 の関と廃棄物。	きる. ぎる. ズムや対策を説明でき 策を説明できる. を説明できる. 騒音・振動・悪臭等の		
		講義では 境問題を 関わる基 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週	基礎的な知識の修得意識して,積極的に本的かつ重要な事項授業内容環境問題の背景地球環境問題代表的な地球環境問題大気環境問題水環境問題 大気環境問題	限に主眼をおきます 情報収集するよう であると認識して ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	上を合格とする. が、実際の環境問題に心がけること. 5 受講してください.	環境への配慮は 週ごとの到達 環境問題の歴史 地球環境問題の 代表的な地球 る・ 大気環境問題の 大環境問題の 大環境にといる 大東汚染、有き 大東汚染、有き	, 技術者倫理とも 相標 と的背景を説明できまりできまり。 は時間題のメカニ のメカニズムや対策 の大力ニズムや対策 が質と廃棄物 対策を説明できる。	きる. ぎる. ズムや対策を説明できる. 策を説明できる. を説明できる. 騒音・振動・悪臭等の. 騒音・振動・悪臭等の.		
		講義ではを 境間を 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週	基礎的な知識の修作意識して,積極的に本的かつ重要な事項 授業内容 環境問題の背景 地球環境問題 代表的な地球環境問 大気環境問題 水環境問題 水環境問題 土壌汚染,有害物質	はで記して はであると認識して はであると認識して はであると認識して はであると認識して はであると認識して はない。 は は は は は	上を合格とする. が、実際の環境問題に心がけること. 5 受講してください.	環境への配慮は 週ごとの到達 環境問題の歴史 地球環境問題の 代表的な地球 る・ 大気環境問題の 大環境問題の 大環境にといる 大東汚染、有き 大東汚染、有き	, 技術者倫理とも 相標 と的背景を説明で の概要を説明でき 環境問題のメカニ のメカニズムや対 にカニズムや対策 に物質と廃棄物。	きる. ぎる. ズムや対策を説明できる. 策を説明できる. を説明できる. 騒音・振動・悪臭等の. 騒音・振動・悪臭等の.		
受業計		講義ではを 境間を 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週	基礎的な知識の修作意識して,積極的に本的かつ重要な事項 授業内容環境問題の背景地球環境問題 代表的な地球環境問題 大気環境問題 大気環境問題 土壌汚染,有害物質 直期中間試験:実施	はで記して はであると認識して はであると認識して はであると認識して はであると認識して はであると認識して はない。 は は は は は	上を合格とする. が,実際の環境問題に心がけること. 受講してください. 振動・悪臭等 振動・悪臭等	環境への配慮は 週ごとの到達目 環境問題の歴史 代表のな地球環 る、気環境問題の 大気環境問題の 大気環境問題の 大大東方に 大大東方 大大東方に 大大東方に 大大東方に 大大東方に 大大東京 大大東方に 大大東京 大大東 大大東	, 技術者倫理とも 相標 の背景を説明で の概要を説明でき 環問題のメカニ のメカニズムや対策 力に大力に対した。 対質と廃棄物、 対策を説明できる。 物質と廃棄物、 対策を説明できる。	きる. える. ズムや対策を説明できる. 策を説明できる. を説明できる. 騒音・振動・悪臭等の. 騒音・振動・悪臭等の.		
受業計		講義ではを 境間の 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週	基礎的な知識の修作意識して,積極的に本的かつ重要な事項 授業内容環境問題の背景地球環境問題 大気環境問題 水環境問題 大気環境問題 大気環境問題 土壌汚染,有害物質 土壌汚染,有害物質 前期中間試験:実施 自然環境	はで記して は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	上を合格とする. が,実際の環境問題に心がけること. 受講してください. 振動・悪臭等 振動・悪臭等	環境への配慮は 週ごとの到達目 環境問題の歴史 地球環境問題の 代表。環境問題の 大気環境問題の 大気環境問題の 大気環境問題の 大大気環境問題の 大大気で、 大大力に 大大力に 大大力に 大大力に 大大力に 大大力に 大大力に 大大力	, 技術者倫理とも 相標 と的背景を説明で の概要を説明でき 環境問題のメカニ のメカニズムや対策 の大力に、これの対策 を説明できる。 対策を説明できる。 対策を説明できる。 対策を説明できる。 対策を説明できる。 対策を説明できる。 が質と廃棄できる。	きる. える. ズムや対策を説明できる. 策を説明できる. を説明できる. 騒音・振動・悪臭等の. 騒音・振動・悪臭等の. ・		
受業計		講義ではを 環境わる 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週	基礎的な知識の修作意識して,積極的に本的かつ重要な事項 授業内容 環境問題の背景 地球環境問題 代表的な地球環境問題 大気環境問題 土壌汚染,有害物質 主壌汚染,有害物質 前期中間試験:実施 自然環境 法体系・国際条約,	はで記して は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	上を合格とする. が,実際の環境問題に心がけること. 受講してください. 振動・悪臭等 振動・悪臭等	環境への配慮は 週ごとの到達目 環境問題の歴史 地球環境問題の 大大気環境問題の 大大気環境問題の 大大気環境問題の 大大気環境問題の 大大気環境問題の 大大気環境で 大大大気で 大大大気で 大大大気で 大大大気で 大大大気で 大大大気で 大大大大大 大大大大 大大大大 大大大大 大大大大 大大大大 大大大大 大大大 大大大大	, 技術者倫理とも 相標 と的背景を説明で の概要を説明でき 環境問題のメカニ シメカニズムや対策 わニズムや対策 特別を廃棄すきる 影物質と廃棄すきる 影物質と脱解できる。 は策を説明できる。 は後を表する は、	きる. えんや対策を説明できる. を説明できる. を説明できる. 騒音・振動・悪臭等の. 騒音・振動・悪臭等の. 本事項を説明できる.		
受業計		講義ではを 境間の 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週	基礎的な知識の修作意識して,積極的に本的かつ重要な事項 授業内容環境問題の背景地球環境問題 大気環境問題 水環境問題 大気環境問題 大気環境問題 土壌汚染,有害物質 土壌汚染,有害物質 前期中間試験:実施 自然環境	はで記して は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	上を合格とする. が,実際の環境問題に心がけること. 受講してください. 振動・悪臭等 振動・悪臭等	環境への配慮は 週ごとの到達を 環境問題境問環境問題 では表する環境問題のと 大水環境問題のと 大水環境に 大水環境に 大水環境に 大水環境に 大水環境に 大水環境に 大水環境に 大水環境に 大水環境に 大水環境で 大水 大水 大水 大水 大水 大水 大水 大水 大水 大水 大水 大水 大水	, 技術者倫理とも 相標 と的背景を説明で の概要を説明でき 環境問題のメカニ シメカニズムや対策 かたがない。 おりないのでは は、ないでは は、ないでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	きる. えんや対策を説明できる. 策を説明できる. を説明できる. 騒音・振動・悪臭等の. ・ ・ ・ 本事項を説明できる. を説明できる. 本事項を説明できる.		
受業計	1stQ	講義ではを 環境わる 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週	基礎的な知識の修作意識して,積極的に本的かつ重要な事項 授業内容 環境問題の背景 地球環境問題 代表的な地球環境問題 大気環境問題 土壌汚染,有害物質 主壌汚染,有害物質 前期中間試験:実施 自然環境 法体系・国際条約,	はであると認識して はであると認識して はであると認識して はであると認識して はない を廃棄物、騒音・ しない ミチゲーション	上を合格とする. が,実際の環境問題に心がけること. 受講してください. 振動・悪臭等 振動・悪臭等	環境への配慮は 週ごとの到達を 環境問題境問環境問題 では表する環境問題のと 大水環境問題のと 大水環境に 大水環境に 大水環境に 大水環境に 大水環境に 大水環境に 大水環境に 大水環境に 大水環境に 大水環境で 大水 大水 大水 大水 大水 大水 大水 大水 大水 大水 大水 大水 大水	, 技術者倫理とも 相標 と的背景を説明で の概要を説明でき 環境問題のメカニ シメカニズムや対策 かたがない。 おりないのでは は、ないでは は、ないでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	きる. えんや対策を説明できる. 策を説明できる. を説明できる. 騒音・振動・悪臭等の. 騒音・振動・悪臭等の. 本事項を説明できる. を説明できる.		
受業計		講義ではを 環境の 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週	基礎的な知識の修作意識して,積極的に本的かつ重要な事項 授業内容 環境問題の背景 地球環境問題 代表的な地球環境問題 大気環境問題 土壌汚染,有害物質 主壌汚染,有害物質 前期中間試験:実施 自然環境 法体系・国際条約, 環境アセスメント	はできます。 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	上を合格とする. が,実際の環境問題に心がけること. 受講してください. 振動・悪臭等 振動・悪臭等	環境への配慮は 週ごとの到達を 環境問題境問題境問題の 環境問題の問題球環境は地球環境に 大水環境問題の 大水環境に 大水環境に 大水環境に 大水環境に 大水環境に 大水環境に 大水環境に 大水環境に 大水環境に 大水環境で 大水環境で 大水環境で 大水環境で 大水環境で 大水環境で 大水環境で 大水環境で 大水環境で 大水環境で 大水環境で 大水環境で 大水環境で 大水、 大水環境で 大水、 大水、 大水、 大水、 大水、 大水、 大水、 大水、 大水、 大水、	, 技術者倫理とも 相標 と的背景を説明で の概要を説明でき 環境問題のメカニ シメカニズムや対策 かたがない。 おりないのでは は、ないでは は、ないでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	きる. える. ズムや対策を説明できる. 策を説明できる. を説明できる. 騒音・振動・悪臭等の. ・ 本事項を説明できる. を説明できる. な説明できる. を説明できる. を説明できる. を説明できる. を説明できる.		
主意点受業計	1stQ	講義間の 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 11週 11週 12週	基礎的な知識の修作意識して,積極的に本的かつ重要な事項 授業内容 環境問題の背景 地球環境問題 代表的な地球環境問題 大気環境問題 土壌汚染,有害物質 前期中間試験:実施 自然環境アセスメント 環境流体シミュレー	はできます。 はであると認識して はであると認識して はであると認識して はであると認識して はない を発棄物、騒音・ しない ミチゲーション ・ション システム	上を合格とする. が,実際の環境問題に心がけること. 受講してください. 振動・悪臭等 振動・悪臭等	環境への配慮は 週ごとの到達を 環境問題境問題域 環境問題域 では、 気環境問題の 大水環境問題の 大水環境問題の 大水環境に 大水ののわるメン 環境に に、 で、 で、 に、 で、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に	, 技術者倫理とも 相標 と的背景を説明で の概要を説明でき 環境問題のメカニズムや対策の大力ニズムや対策を繋でき が質を説明です。 対策を説明でき は策を説明できる。 は一を記しいできる。 は一を復技術の基 は一を観要(法律 しーションの基 ーズの概要を説	きる. える. ズムや対策を説明できる. 策を説明できる. を説明できる. 騒音・振動・悪臭等の. ・ 本事項を説明できる. を説明できる. を説明できる. を説明できる. を説明できる. を説明できる. を説明できる. を説明できる. できる. がは術)を説明できる.		
受業計	1stQ	講義問題を 週 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週	基礎的な知識の修作意識して, 積極的に大きでである。 環境のでである。 環境のでである。 環境のでである。 環境のではできる。 環境のではできる。 環境のではできる。 、 できる。	はであると認識して はであると認識して はであると認識して はであると認識して はない ミチゲーション システム システム	上を合格とする. が,実際の環境問題に心がけること. 受講してください. 振動・悪臭等 振動・悪臭等	環境への配慮は 週ごとの到の歴題 環境は球球のは問題では、 環境はでは、 環境には、 環境には、 環境には、 環境には、 環境には、 大水環境には、 大水環境には、 大水環境には、 大水環境では、 大水環境では、 大水環境では、 大水環境では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	, 技術者倫理とも 標 と的背景を説明で の概要を説明でき 境問題のメカニ シメカニズムや対策 が大力によいが対策を説明でき が質を説明できる が質を説明できる が質を説明できる が質を説明できる が質を説明できる は、本事項 ・トの概要(法律 ・トの概要を説明できる ・トシステムの概要を説明できる	きる. ぶる. ズムや対策を説明できる. 策を説明できる. を説明できる. 騒音・振動・悪臭等の. ・ 本事項を説明できる. ・ を説明できる. ・ な説明できる. ・ を説明できる. ・ 要と認証評価について		
受業計	1stQ	講義間を 調義問わる 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週	基礎的な知識の修作意識して, 積極的に大きでである。 環境問題の背景地球環境問題 代表の環境問題 代表の環境問題 大気環境問題 大気環境問題 土壌汚染, 有害物質 主壌汚染, 有害物質 前期環境 法体系・国際条約, 環境アセスメント 環境マネジメント。	はであると認識して はであると認識して はであると認識して はであると認識して はない ミチゲーション システム システム	上を合格とする. が,実際の環境問題に心がけること. 受講してください. 振動・悪臭等 振動・悪臭等	環境への配慮は 週ごとの到の歴題 環境は球球のは問題では、 環境はでは、 環境には、 環境には、 環境には、 環境には、 環境には、 大水環境には、 大水環境には、 大水環境には、 大水環境では、 大水環境では、 大水環境では、 大水環境では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	, 技術者倫理とも 標 と的背景を説明で の概要を説明でき 境問題のメカニ シメカニズムや対策 が大力によいが対策を説明でき が質を説明できる が質を説明できる が質を説明できる が質を説明できる が質を説明できる は、本事項 ・トの概要(法律 ・トの概要を説明できる ・トシステムの概要を説明できる	きる. ぶる. ズムや対策を説明できる. 策を説明できる. を説明できる. 騒音・振動・悪臭等の. ・ 本事項を説明できる. ・ を説明できる. ・ な説明できる. ・ を説明できる. ・ 要と認証評価について		
受業計	1stQ	講義問題を 週 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週	基礎的な知識の修作意識して, 積極的に大きでである。 環境のでである。 環境のでである。 環境のでである。 環境のではできる。 環境のではできる。 環境のではできる。 、 できる。	はに主眼をおきますうに情報収集するようであると認識して は情報収集すると認識して はであると認識して はであると認識して はない こまが一ション システム システム システム システム	上を合格とする. が,実際の環境問題に心がけること. 受講してください. 振動・悪臭等 振動・悪臭等	環境への配慮は 週ででは、 週ででは、 週ででは、 のののでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	, 技術者倫理とも 標 と的背景を説明で の概要を説明でき 境問題のメカニ シメカニズムや対策 が大力によいが対策を説明でき が質を説明できる が質を説明できる が質を説明できる が質を説明できる が質を説明できる は、本事項 ・トの概要(法律 ・トの概要を説明できる ・トシステムの概要を説明できる	きる. ぶる. ズムや対策を説明できる. 策を説明できる. を説明できる. 騒音・振動・悪臭等の. ・ 本事項を説明できる. ・ を説明できる. ・ な説明できる. ・ な説明できる. ・ を説明できる. ・ 要と認証評価について		
受業計	1stQ 2ndQ	講義問名 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	基礎的な知識の修作意識して、 意識しての重要な事項 授業内容 環境問題の背景 地球環境問題 代表環境問題 大気環境問題 大気環境問題 土壌汚染,有害物質 主壌汚染,有害物質 前期環境 法体系・マスメント 環境マネジメント 環境マネジメント 環境マネジメント 環境マネジメント	はで記載して はであると認識して はであると認識して はであると認識して はであると認識して はであると認識して はであると認識して はであると認識して はであると認識して はであると認識して はであると認識して はであると認識して はであると認識して はであると認識して はであると認識して はであると認識して はいい ここまであると はいい ここまであると はいい ここまであると はいい ここまであると はいい ここまであると はいい ここまであると はいい ここまであると はいい ここまであると はいい ここまであると はいい ここまであると はいい ここまであると はいい ここまであると はいい ここまであると はいい ここまであると はいい ここまであると はいい ここまであると はいい ここまであると はいい ここまであると にいいここまであると にいいいここまである にいいいいここまである にいいいここまである にいいいここまである にいいいここまである にいいいここまである にいいいいここまである にいいいいいにないないる にいいいいいいいいいいいいにないないないないないないないないないないないないな	上を合格とする. が,実際の環境問題に心がけること. 受講してください. 振動・悪臭等 振動・悪臭等	環境への配慮は 週ででは、 週ででは、 週ででは、 のののでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	, 技術者倫理とも 標 と的背景を説明で の概要を説明でき 境問題のメカニ シメカニズムや対策 が大力によいが対策を説明でき が質を説明できる が質を説明できる が質を説明できる が質を説明できる が質を説明できる は、本事項 ・トの概要(法律 ・トの概要を説明できる ・トシステムの概要を説明できる	きる. ぶる. ズムや対策を説明できる. 策を説明できる. を説明できる. 騒音・振動・悪臭等の. ・ 本事項を説明できる. ・ を説明できる. ・ な説明できる. ・ な説明できる. ・ を説明できる. ・ 要と認証評価について		
受業計	1stQ 2ndQ	講義問名 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	基礎的な知識の修作意識して、 意識しての事項 授業内容 環境問題の背景 地球環境問題 代表 明題 大気環境問題 大気環境問題 土壌汚染, 有害物質 前期環境・国際条約, 環境マネシメントラ 環境マネジメントラ 環境マネジメントラ 環境マネジメントラ 環境マネジメントラ 環境マネジメントラ 環境マネジメントラ 環境マネジメントラ 環境マネジメントラ 環境マネジメントラ 環境マネジメントラ に関連ないます。 に関連ないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまな	はで記載して はであると認識して はであると認識して はであると認識して はであると認識して はであると認識して はであると認識して はであると認識して はであると認識して はであると認識して はであると認識して はであると認識して はであると認識して はであると認識して はであると認識して はであると認識して はいい ここまであると はいい ここまであると はいい ここまであると はいい ここまであると はいい ここまであると はいい ここまであると はいい ここまであると はいい ここまであると はいい ここまであると はいい ここまであると はいい ここまであると はいい ここまであると はいい ここまであると はいい ここまであると はいい ここまであると はいい ここまであると はいい ここまであると はいい ここまであると にいいここまであると にいいいここまである にいいいいここまである にいいいここまである にいいいここまである にいいいここまである にいいいここまである にいいいいここまである にいいいいいにないないる にいいいいいいいいいいいいにないないないないないないないないないないないないな	上を合格とする. が,実際の環境問題に心がけること. 受講してください. 振動・悪臭等 振動・悪臭等	環境への配慮は 週ででは、 週ででは、 週ででは、 のののでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	, 技術者倫理とも 相標 上的背景を説明できまいです。 環境問題のメカニズムや対対 スムや対対を対象を説明を記り、大力ニズムの発すできまり。 情がを説明を記り、大力にない。 は一次の概要であり、大システムの関連であり、大システムの関連であり、大システムの関連であり、大システムの関連であり、大システムの関連であり、大システムの関連であります。	きる. ぶる. ズムや対策を説明できる. 策を説明できる. を説明できる. 騒音・振動・悪臭等の. ・ 本事項を説明できる. ・ を説明できる. ・ な説明できる. ・ な説明できる. ・ を説明できる. ・ 要と認証評価について		
受業計	1stQ 2ndQ	講覧関 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 キュラムの	基礎的な知識極等的な知識極等に表的のででである。 一般である。 一をな。 一をな。 一をなる。 一をなる。 一をなる。 一をなる。 一をな。 一をなる。 一をなる。 一をなる。	はに主眼をおきますうはであると認識して はであると認識して はであると認識して はであると認識して はない ミチゲーション システム システム システム システム システム システム ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	上を合格とする. が,実際の環境問題に心がけること. 受講してください. 振動・悪臭等 振動・悪臭等	環境への配慮は 週ででは、 週ででは、 週ででは、 のののでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	, 技術者倫理とも 相標 上的背景を説明できまいです。 環境問題のメカニズムや対対 スムや対対を対象を説明を記り、大力ニズムの発すできまり。 情がを説明を記り、大力にない。 は一次の概要であり、大システムの関連であり、大システムの関連であり、大システムの関連であり、大システムの関連であり、大システムの関連であり、大システムの関連であります。	きる. えんや対策を説明できる. を説明できる. を説明できる. を説明できる. 騒音・振動・悪臭等の. ・ 本事項を説明できる. を説明できる. を説明できる. を説明できる. を説明できる. を説明できる. を説明できる. のできる. のできる. 要と認証評価について 入事例に対して評価で		
受業計	1stQ 2ndQ コアカリ:	講覧関 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 キュラムの	基礎的な知識極等的な知識極等に表的のででである。 一般である。 一をな。 一をな。 一をなる。 一をなる。 一をなる。 一をなる。 一をな。 一をなる。 一をなる。 一をなる。	はに主眼をおきますうはであると認識して はであると認識して はであると認識して はであると認識して はない ミチゲーション システム システム システム システム システム システム ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	上を合格とする. が,実際の環境問題に心がけること. 受講してください. 振動・悪臭等 振動・悪臭等	環境への配慮は 週ででは、 週ででは、 週ででは、 のののでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	, 技術者倫理とも 標 に的背景を説明で の概要を説明で 環境問題のメカニズムや対策 特別を説明でする。 が大力により、大力により、大力により、大力には、大力にない。 では、大力には、大力には、大力には、大力には、大力には、大力には、大力には、大力に	きる. えんや対策を説明できる. を説明できる. を説明できる. を説明できる. 騒音・振動・悪臭等の. ・ 本事項を説明できる. を説明できる. を説明できる. を説明できる. を説明できる. を説明できる. を説明できる. のできる. のできる. 要と認証評価について 入事例に対して評価で		

基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	100	0	0	0	0	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0